

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
新居浜市	上部西(大生院)地区(【大生院】喜来、下本郷、上本郷、栗林、川口、銀杏の木、岸影、戸屋の鼻、大野山)	令和4年3月24日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	122.4 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	64.5 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	79.5 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	22.7 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	1.8 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	3.5 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<p>大生院地区については、区画が整っている地域もあり営農しやすい地区であり、水稻をメインとして栽培する農家が多い。当地区の耕作者の年齢構成は70代以上が中心であり、後継者不足が深刻となっている。認定農業者は4名であり、今後においても規模拡大の見込みがあるものの、イノシシやニホンザル等の鳥獣被害が多いことが問題となっている。</p>

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>水稻や里芋をメインとして、中心経営体である認定農業者が今後も担っていく。また、認定農家以外でも、5～10年後も営農が可能な見込みの農業者がおり、地域での話し合いにより集積していく。</p>

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農	A	水稻・野菜	1.1 ha	水稻・野菜	1.1 ha	上部西(大生院)地区
認農	B	養蜂	0.4 ha	養蜂	0.4 ha	上部西(大生院)地区
認農	C	水稻・野菜	1.5 ha	水稻・野菜	4.0 ha	上部西(大生院)地区
認農	D	水稻	5.6 ha	水稻	6.5 ha	上部西(大生院)地区
集	E	作業受託	2.0 ha	作業受託	2.1 ha	上部西(大生院)地区
計	5人		10.6 ha		14.1 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

大生院地区は、農家の減少、担い手の不足等が進んでいるため、後継者の確保、育成等が必要である。また、イノシシやニホンザル等による鳥獣被害が特に深刻であることから、ワイヤーメッシュや電気柵を正しく設置する等、地域ごとに対策を進めていく。